

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平9-60387

(43) 公開日 平成9年(1997)3月4日

(51) IntCl<sup>6</sup>

識別記号

庁内整理番号

F I

技術表示箇所

E 0 5 C 17/54

E 0 5 C 17/54

審査請求 未請求 請求項の数1 OL (全 3 頁)

(21) 出願番号 特願平7-217650

(22) 出願日 平成7年(1995)8月25日

(71) 出願人 395016143

株式会社ジェクティブ

大阪市城東区諏訪3丁目10番5号

(72) 発明者 柳 稔 行雄

大阪府大阪市城東区諏訪3丁目10番5号

株式会社ジェクティブ内

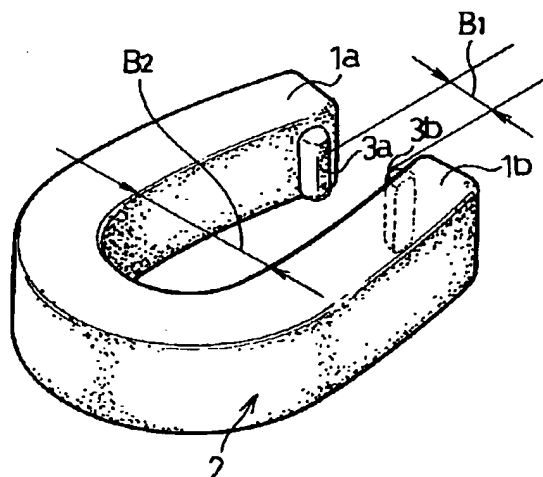
(74) 代理人 弁理士 石原 勝

(54) 【発明の名称】 ドアストッパー

(57) 【要約】

【課題】 使用に便利で、ドアの厚さが種々のものにも対応でき、ドアを少し開いた状態でその位置に固定することができるドアストッパーを提供する。

【解決手段】 開口端幅B<sub>1</sub>が狭まった馬蹄形に形成されたエラストマー製のクリップ体2であって、ドアの側縁又は上縁に挟み込んで止着して用いることを特徴とするドアストッパー。



## 【特許請求の範囲】

【請求項1】 開口端幅が狭まった馬蹄形に形成されたエラストマー製のクリップ体であって、ドアの側縁又は上縁に挟み込んで止着して用いることを特徴とするドアストッパー。

## 【発明の詳細な説明】

## 【0001】

【発明の属する技術分野】本発明はドアを少し開いた状態でその位置を固定するためのドアストッパーに関するものである。

## 【0002】

【従来の技術】ドアストッパーとして実開平6-30382号公報に示されるものが知られている。この従来例は、図7に示すように、馬蹄形に形成され、その本体21の周囲に山状の突起物22が多数形成されたものである。そして、このストッパーをドアの下縁と床との間に差し入れて、ドアの開閉を一時的に停止するものである。前記突起物22によってドアと床との間の抵抗が高まり、ドアを所定の開閉位置に確実に停止させることができる。

## 【0003】

【発明が解決しようとする課題】上記従来例によれば、ドアを任意の開閉位置に停止させることができるが、ドアストッパーの差し込み位置がドアの下縁にあるため、身をかがめての差し込み動作が必要であって、取扱いにくいという問題がある。

【0004】室内に風を入れるため、ドアを少し開いた状態で停止させたいような場合にも、一々身をかがめてドアストッパーをドアの下縁と床との間に差し込む必要があり、使用に不便である。

【0005】本発明は、室内に風を入れる等のためドアを少し開いた状態で停止させたいときに、極めて簡単な操作でこれを可能にするドアストッパーを提供することを目的とする。

## 【0006】

【課題を解決するための手段】本発明は上記目的を達成するため、開口端幅が狭まった馬蹄形に形成されたエラストマー製のクリップ体であって、ドアの側縁又は上縁に挟み込んで止着して用いることを特徴とするドアストッパーを提供するものである。

## 【0007】

【発明の実施の形態】図1～図5に示すドアストッパーは、開口端1a、1bの幅B<sub>1</sub>が狭まった馬蹄形に形成されたエラストマー製のクリップ体2によって構成される。クリップ体2の開口端1a、1bの内面には突条3a、3bが形成され、その突条3a、3b間の幅である前記幅B<sub>1</sub>は、クリップ体2の基部側内面間の幅B<sub>2</sub>の約1/2に形成されている。クリップ体2は、塩ビ系エラストマー、ウレタン系エラストマーなどで形成され、

適度の変形が可能で、元の形状に復元する弾性を有するように構成されている。

【0008】前記幅B<sub>1</sub>は、ドア4の厚みTより小に形成され、前記幅B<sub>2</sub>は前記厚みTより大に形成されていて、図2及び図3に示すように、ドア4の側縁4aに挟み込んで止着されて用いられる。ドア4の厚みTは、ドア4の種類によって一定しないが、本発明のクリップ体2は、エラストマーの弾性を利用してその開口端1a、1bを開くことにより、ほとんどの種類のドア4に止着することができる。

【0009】そして、図2及び図3に示すように、ドア4の側縁4aにクリップ体2を止着することにより、ドア4とドア枠5との間にクリップ体2が介在し、隙間が形成されることによって、風通し等の目的でドア4をその位置に停止させることができる。クリップ体2の着脱は極めて容易であり、使用に便利である。なお、図2に明らかなように、ロックチェーンを掛けたままの状態とできるので、防犯上も有利である。

【0010】前記クリップ体2は、ドア4の側縁4aのみならず、図4及び図5に示すように、ドア4の上縁4bに止着することも可能である。この場合には、図4と図5とを比較して明らかなように、上縁4bのクリップ体2の止着位置を変えることにより、ドア4とドア枠5との間の隙間の広狭を調整することができる。

【0011】図6に示すドアストッパーは、その開口端1a、1bを内側に凸に屈曲させ、その屈曲部6a、6bの間隔（開口端幅）B<sub>1</sub>を、馬蹄形のクリップ体2の基部側内面間の幅B<sub>2</sub>より小に形成したものであり、その他の構成及び作用は図1～図5に示すものと同様のものである。

## 【0012】

【発明の効果】本発明によれば、使用に便利で、ドアの厚さが種々のものにも対応でき、ドアを少し開いた状態でその位置に固定することができるドアストッパーを提供することができる。

## 【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の実施の一形態を示す斜視図。

【図2】その使用状態を示す斜視図。

【図3】図2の平面図。

【図4】その使用状態を示す斜視図。

【図5】その使用状態を示す斜視図。

【図6】本発明の実施の他の形態を示す平面図。

【図7】従来例の斜視図。

## 【符号の説明】

1a、1b 開口端

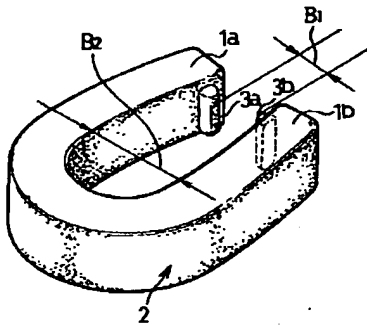
2 クリップ体

4 ドア

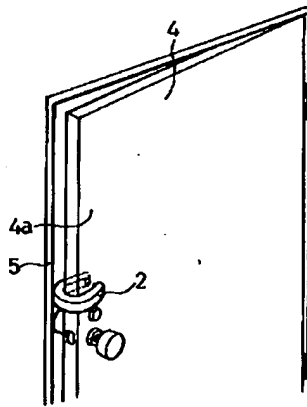
4a ドアの側縁

4b ドアの上縁

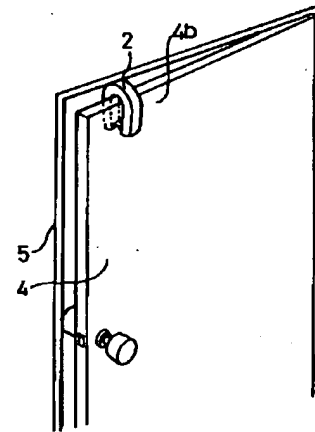
【図1】



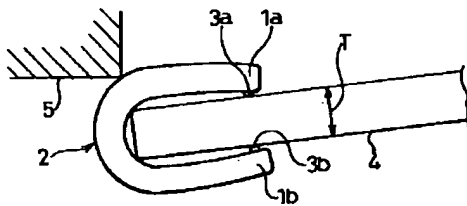
【図2】



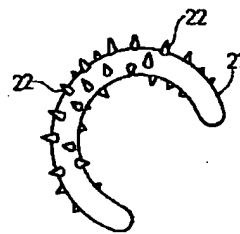
【図4】



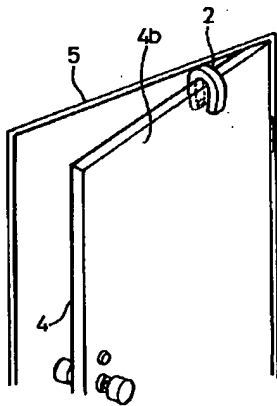
【図3】



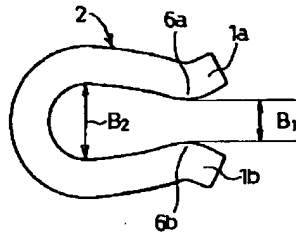
【図7】



【図5】



【図6】



**PAT-NO: JP409060387A**

**DOCUMENT-IDENTIFIER: JP 09060387 A**

**TITLE: DOOR STOPPER**

**PUBN-DATE: March 4, 1997**

**INVENTOR-INFORMATION:**

**NAME**

**NAGIRA, YUKIO**

**ASSIGNEE-INFORMATION:**

**NAME**

**KK JIEKUTEIBU**

**COUNTRY**

**N/A**

**APPL-NO: JP07217650**

**APPL-DATE: August 25, 1995**

**INT-CL (IPC): E05C017/54**

**ABSTRACT:**

**PROBLEM TO BE SOLVED:** To fix the position of a door at a slightly open state by fixedly clamping a horseshoe-shaped clip body made of elastomer between side edges or upper edges of a door.

**SOLUTION:** A door stopper comprises a horse shoe-shaped clip body made of elastomer whose opening edges 1a and 1b are provided with a smaller width B.

**Projected strips 3a and 3b are formed on an inner surface of this opening end.**

**The width  $B_{1}$  between both projected strips is formed substantially  $1/2$**

**of the width  $B_{2}$  between the inner surfaces on the base of the clip**

**body 2. The clip body 2 is properly deformable and provided with elastic properties to return to the original shape. The width  $B_{1}$  is arranged**

**to be smaller than the thickness  $T$  of a door 4 while the width  $B_{2}$  is**

**formed so that it may be larger than this thickness  $T$ . The clip body 2 is locked with the side edge 4a of the door 4, thereby interposing the clip body 2**

**between the door 4 and a door frame 5 and forming a clearance. This construction makes it possible to halt the door 4 at that position for ventilation or the like.**

**COPYRIGHT: (C)1997,JPO**